

【令和5年度】第3回学校運営協議会実施報告

令和5年度第3回学校運営協議会を以下のように開催いたしましたので報告いたします。

- 日時：令和6年3月11日(月)
- 場所：横浜南陵高等学校会議室
- 参加：学校運営協議会委員(6名)、事務局他(4名)

○内容

- 1 校長挨拶
- 2 報告
 - ・第2回学校運営協議会分科会(報告)について
 - ・部活動について
 - ・本校の教育活動について
- 3 議題
 - ・令和5年度学校評価報告書(実施結果)
 - ・学校運営協議会の設置等に関する規則
第4条による意見、申し出
- 4 質疑応答

議事録

神奈川県横浜南陵高等学校における学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を次のとおりで開催した。

審議会等名称	神奈川県立横浜南陵高等学校 令和5年度 第3回学校運営協議会
開催日時	令和6年3月11日(月) 14:00~15:30
開催場所	神奈川県立横浜南陵高等学校 会議室
出席者	[委員] 小川 昭(横浜市港南区日野第三町内会長) 瀬古 恵美(横浜リハビリテーション専門学校教務部長) 菊本 純(横浜市日野中央高等特別支援学校長) 狩谷 浩史(横浜市日野小学校長) 佐藤 佐代子(横浜南陵高等学校PTA会長) 旗島 経子(横浜南陵高等学校長) [事務局] 須田 孝之(副校長)、大貫 謙一(教頭)、木下 洋(教諭) 田近 里紗(実習助手)
開会	

○学校長挨拶

- ・本日の主な議題は1年間の振り返りと学校運営協議会の設置等に関する規則 第4条による意見、申し出。
- ・より良い学校になるようにご協力をお願いしたい。

○第2回学校運営協議会分科会(報告)について

- ・主な話題は学校ボランティアについてとICT授業について。
- ・学校ボランティアは現在8名着任予定。現在も募集中。
特別募集生徒向けの制度ではあるが、一般生徒も含めて様々なコミュニケーションをとっていききたい。
- ・Classiの学習ツールの活用について検討した。

○部活動報告

- ・今年度は体育館の工事で使えず、様々な高いハードルがあった。
- ・ボウリング部は全国大会に複数参加する事ができた。
- ・弓道部は関東大会出場、写真部は写真コンテストで入賞、社会福祉部は作文部門で優秀賞、箏曲部は高文連会長賞を受賞する事ができた。
- ・本校生徒が部活動をとおして、心身ともに成長できる様、支援していきたい。

○本校の教育活動報告

- ・全ての教科で同じコンピテンシーで教育活動を行うよう、職員に依頼している。
- ・卒業するまでに身に付けて欲しい資質や能力のグラジュエーションポリシーを教育活動の中で実践していく。

《ご意見・ご質問》

(質問)全員が何かの部活動に所属しているのか。

(校長)8割近い生徒が部活動に所属している。入るように推奨はしている。

(質問)推奨するだけで8割の生徒が部活動に所属するのか。

(校長)はい。生徒が自主的に入部できる様に、今後も推奨、勧誘を続けていきたい。

○令和5年度学校評価

①教育課程・学習指導

- ・ICTの活用で、もっと生徒が興味関心を持つことができるか、今後も引き続いて研究していきたい。
- ・福祉の心を探究の時間等の教育活動に取り入れて、授業や部活動などで伸ばしていき

たい。

②生徒指導・支援

- ・ SNS 関連の問題について、人権感覚を身に付けさせることによって、未然防止に努めたい。
- ・ 教育相談については、かなりの成果をあげられている。
- ・ 今年度からサポートドックという取り組みが開始された。この取り組みにより、生徒と職員の話し合い、やりとりが増えている。

③進路相談・支援

- ・ Classi を学習ツールとして利活用し、学力向上に努めたい。
- ・ 色々な学習ツールを利用し、生徒が希望する進路を叶える事ができる様、指導していきたい。

④地域との協働

- ・ 図書委員、社会福祉部等が様々な場所で交流を深めることができた。
- ・ 一部の委員会、部活動だけではなく、色々な委員会、部活動に広げていきたい。

⑤学校管理・学校運営

- ・ 来年度より4か年計画で長寿命工事を入れる事になった。
- ・ 職員の意見を反映できる様な学校運営に努めたい。

《ご意見・ご質問》

(質問)個別にあった課題等、先生方のスキルが問われるところが大きい。その対策はしているのか。

(校長)ICT等の研修は行っている。また、ミニ研修という形で短い時間での研修も行っている。

(質問)教育相談体制の充実を図るアンケートはもう実施されていますか？

(校長)今年度の9月から神奈川県立高校で導入している。アンケートの結果、困っている生徒がいる場合は声をかけている。

(質問)どのような回答をすると、困っていると判断されるのか。

(校長)様々なので、一概には言えない。

(質問)メンタル面や学習の問題など様々ですか？

(校長)そうです。

(質問)アンケートをとる際に何かある場合は声をかけると、生徒には伝えているのか。

(校長)事前に声をかけるとは伝えていない。ただ、皆の困り感などの確認のためにアンケートを実施するので、協力してほしいと伝えている。

(質問)アプローチが難しい生徒にはどのように対応しているのか。

(校長)担任だけではなく、副担任や養護教諭など生徒が一番接しやすい職員が対応するよ

うにしている。学校全体で対応しています。

(質問)この学校評価に関して、生徒・保護者からアンケート等を実施しているのか。

(校長)校内評価については、担当部署が作成している。それとは別に魅力と特色ある学校作りアンケートを生徒・保護者から回答していただいている。それはまた別のシートで集計しています。

(質問)その魅力と特色ある学校作りアンケートの結果と学校評価はリンクしているのか。

(校長)リンクはしていない。生徒・保護者に確認した方が、より正確な評価が出ると思うので、来年度検討いたします。

(意見)卒業した保護者です。そのアンケートを子供と一緒に回答しました。本人も親としても自分で考える力は3年間で身についたと思います。本人も、自分の中ではすごく成長したと思っているようです。

(校長)ありがとうございます。学校としても嬉しく思います。

(意見)説明を聞いて、先生方が色々と苦労されているのだなと感じた。生徒は SNS を使いこなしている、そのパワーを使って ICT で学習能力を自らあげるパワーに変えられないか。先生方の負担を軽減する事も考えないといけないなと思いました。

(校長)教科内での話し合いをしっかりとって、協力体制をとっていきたい。手段を使う事によって、教職員が疲弊する事のないようにしたい。

(意見)地域と協働というところの日野町内会について。そういう場面での対応で、学校のイメージがついてしまう。南陵生は優しい。そういう風に周りから見られる学校に今後も維持して欲しい。

(校長)暖かいご意見ありがとうございます。

(質問)週 31 単位というのは必要最小限の単位ですか？もっと増やしたいですか？

(校長)理想としては増やしたいです。

(質問)7時間授業を増やしたいですか？31単位が適切だととらえていますか？

(校長)7時間が毎日となると、他の活動が停滞してしまう。なので、これが適切だと思います。

(意見)防災訓練に高校生が参加してくれてありがたく思っていますし、地域の方もとても喜んでいきます。来年度、本校にも手話点字クラブができます。その際も、何か南陵生のお力を借りる事ができれば嬉しい。

(校長)手話点字クラブでもぜひ交流できればと思います。

(質問)学校管理・学校運営のところの老朽化について。校舎の工事には優先順位があるのか。

(校長)優先順位はない。県に強く訴え続けていく。外壁は令和8年度に工事予定です。

○学校運営協議会の設置等に関する規則

第4条による意見、申し出

- ・運営協議会が県に対して意見、申し出をする事ができる。
- ・よりよい教育活動に結び付くものとして、忌憚のないご意見をお願いいたします。

《ご意見・ご質問》

(質問)来年度から、インクルーシブ教育が始まるという事で、それに特化した職員配置は要望されるのか。

(校長)秋にヒアリングは行っている。

(質問)来年度、インクルーシブ教育のために教員はプラスで配置されるのか。

(校長)プラスでは配置される。ただ、特別支援の免許をもっている職員とは限らない。

(質問)TTの派遣などはつくのか。

(校長)派遣などはない。ただ、学習支援員が2名配置される。

(質問)職員はインクルーシブ教育が始まらなくても増える予定だったのか。

(校長)いいえ。インクルーシブの生徒の授業を充実させるために増える。

(質問)来年度以降、インクルーシブの生徒が3学年揃っても、増えるのは来年度だけなのか。

(校長)3学年揃うまで、学習支援員も教員も少しずつ増えていきます。

○事務連絡後、閉会